

子育て支援

糸島市こども家庭センター「いとハピ」

糸島市こども家庭センターいとハピとは糸島でのハッピーな子育てを支援する妊娠期から子育て期までの専門窓口です。こども家庭センターでは、妊娠、出産、子育て、こどもに関する様々な相談を受け、支援を行っています。

子ども・子育てに関することは、何でも相談できます。相談員が、こどもや保護者などからの悩みや困り事の相談を受け付けます。

【開所日】8時30分～17時15分（日・祝日、年末年始を除く）

【場所・問い合わせ】

糸島市市民交流センター1階（前原西二丁目1-2）

0120（1108）25

糸島市公式アプリ
いとハビナビ



子育て支援センター「にこにこ」

子育て支援センターは、親子で気軽に集える場、子育ての仲間づくりの場となるよう、子育て広場や年齢別教室、子育てセミナーなどを行っています。

【開所日】火～土曜日 10時～16時

【場所・問い合わせ】

糸島市交流プラザニ丈館1階（二丈深江1360）

092-332-2105



保育所での一時預かり

急用の時、保育所に入所していない子どもを一時預けることができます。
時間・料金などは市のHPを参照して、直接保育所にお問い合わせください。

糸島市ファミリー・サポート・センター（いとしまファミサポ）

子育ての援助をしてほしい人と子育ての援助をしたい人が会員となって、子どもの預かりなど、一時的な子育てを助け合う有償ボランティア事業です。

【問い合わせ】092-332-8717

病児・病後児保育施設「コアラ」

仕事などで保護者が昼間留守にする場合、病気の回復期、または病状の急変が認められない状況にあるお子さん（生後3か月～小学6年生まで）を一時預かりします。【問い合わせ】092-332-9720



市内を巡る暮らしに便利な交通MAP！

JRやバスなどの市内公共交通機関の路線図、時刻表を掲載した「分かりやすく」「使いやすい」、糸島市公共交通ガイドをご活用ください！



近隣の直売所

●福ふくの里

「産地の中に住んでいる」と言ってもいいほど、福吉は野菜・果樹・魚介類の生産者が多い地域。そんな新鮮でおいしい豊かな食材がここ「福ふくの里」に並びます。

2021年4月20日には福ふくの里のレストラン「旬菜旬魚ふくふく」がニューオープンしました。春には一面の菜の花を満喫しながら食事が楽しめます。

【場所】二丈福井6333

【営業日時】9時～17時 / 盆正月定休

【電話】092-326-6886



近隣の水汲み場

●まむしの湯「神水まむし」

【場所】二丈吉井2380-1

【料金】20L 100円 【時間】24時間稼働



●真名子の銘水

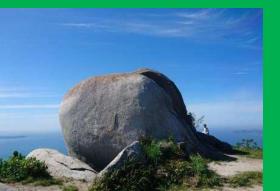
【場所】二丈森林公園「真名子木の香ランド」内

【料金】60L 100円



福吉校区周辺には、二丈岳・女岳・浮獄・十坊山など、昔から登山や沢登りで親しまれている山が多くあり、春から秋にかけては「アケボノソウ」「ツルリンドウ」などいろんな花が咲きます。また、登山後に「きららの湯」や「まむしの湯」で汗を流せるのも魅力の一つです。

市では、皆さんの山歩きのお供として『糸島の山歩き』という登山マップを作成し、観光協会などで配布しています。登山のレベルや目的に応じてマップを選んでいただけますので、ぜひご活用ください！



地域のてびき



福吉（ふくよし）校区



さと満足
糸島生活
Life Town Itosaka



福吉 (ふくよし) 校区



基本情報

- 最寄駅：JR大入駅
福吉駅
鹿家駅
- 人口：3,784人
- 世帯数：1,744世帯
- 行政区名：佐波（さなみ）/ 大入（だいにゅう）
福井（ふくい）/ 吉井下（よしいしも）
吉井上（よしいかみ）/ 鹿家（しかか）
- 小中学校：福吉小学校 / 児童数195人・学級数9
福吉中学校/生徒数71人・学級数5

※人口・世帯数は令和7年3月末、小中学校の情報は令和7年5月1日現在

◆校区・行政区とは？

糸島市には小学校が16校、中学校が6校あり、小学校の通学範囲を「小学校区（校区）」といいます。また、市からの連絡文書の配布・回覧など市政の円滑な運営を図るため、市域を164の「行政区」に分けており、各行政区では自治組織（自治会・町内会）が形成されています。主に小学校区・行政区単位で、お祭り、伝統文化の継承、清掃活動、安全パトロールなど、安心で住みよいまちづくりのため、様々な地域活動が自主的に取り組まれています。特に、大規模災害など、いざというときに頼りになる「地域のきずな」を大切にし、地域住民の連帯意識の向上に努めています。



◆自治組織に加入するには？



加入は、お住まいの地域の自治会長に申し出てください。お住まいの自治会長がご不明なときは、糸島市コミュニティ推進課（092-332-2062）までお問い合わせください。新しいまちでのコミュニケーションの第一歩として、住みよい地域づくりのために様々な活動を行っている「自治組織（自治会・町内会）」に加入しましょう！

※自治組織によって金額は異なりますが、地域交流活動や環境保全活動費等として、自治会費や入会費を納める必要があります。詳しくは自治会長へお問い合わせください。

◆行政区長さん、 地域コーディネーターさんがいます！

各行政区には、その区をとりまとめる区長さんがいます。また、生活に密着した地域の情報提供や、日々の生活に関する不安や疑問の解消を目的に、地域コーディネーターさんも配置しています。区長さんや地域コーディネーターさんに聞いてみたいことがあれば、お気軽に糸島市コミュニティ推進課（092-332-2062）までお問い合わせください。



北

は玄海灘、南は脊振山系と、海・山の両方を兼ね備えている福吉校区。農業、漁業など一次産業が古くから盛んで自然が豊かに息づく地域です。6つの行政区ごとに歴史があり、それぞれに奥深い文化があります。糸島市の西の玄関口として位置づけられ、佐賀県唐津市と隣接しています。車で15分程度で行ける唐津市は校区の人にとって生活圏内。大型ショッピングモール等があるので、必要なものがあればすぐに足をのばせます。



ここが福吉校区の特長！

◆福井神楽

五穀豊穣・家内安全を祈願して毎年5月の第2日曜日に奉納されます。大晦日から正月にかけて行われる夜神楽もありますが、全演目を舞うのは5月だけ。糸島市指定無形民俗文化財として大切に継承されており、小中学校では授業の一環として舞の指導を取り入れています。

◆福吉神幸祭

五穀豊穣大漁祈願祭。浮嶽神社、吉井白山宮、福井白山神社より大名行列さながらに列をなして進み、海上では大漁旗を掲げた漁船がパレードします。

◆姉子の浜の鳴き砂

玄界灘の荒波によって形成された遠浅の白砂海岸で、九州でも珍しい鳴き砂海岸です。砂浜は長さ1.1kmで国道沿いに弓状に広がり、夕日の美しい場所としても知られています。きれいな海を守ろうと、地域でのクリーン活動も積極的に行われています。

◆大入盆綱引き（かずらの綱引き）

お盆恒例の行事で、亡靈たちを救おうとする仏様達と、亡者を逃がすまいとする地獄の鬼達との綱引きに、現世の我々も応援して仏様たちに加勢しようと始められました。大入白山神社前の参道で行われ、勝負の後は綱を海岸に運び込み土俵の俵にし、そこで子どもも相撲が行われます。



◆力キ小屋

栄養豊富な川の水がそそぐ海では力キがよく育ち「福吉の一粒力キ」として有名です。冬場には水揚げしたばかりの力キをその場で焼いて食べる「力キ小屋」が漁港に店開き。糸島エリアでは唯一電車で行け、地元客や観光客でにぎわいます。

◆浮岳幸花樹園（うきだけこうかじゅえん）

福吉から佐賀県七山に抜ける「七山街道」沿いにある、九州最大級のキリシマツツジの名所。4月～5月の連休は多くの見物客が訪れます。



◆二丈渓谷・加茂ゆらりんこ橋

佐波行政区を流れる加茂川の河口では、春に白魚が捕れます。中流の「加茂ゆらりんこ橋」から約2kmは手軽なハイキングコース。春は桜や菜の花が咲きみだれ、人々目を楽しませてくれます。特に「明神の滝」は納涼スポットとして人気で、その先にあるキャンプ場「真名子木の香ランド」では四季折々に自然を楽しめます。さらに、そこから二丈岳（711m）への登山もできます。

◆自主運行バス

福吉校区では、駅やバス停から離れている公共交通が不便な地域を縮減するため、「自主運行バス（愛称 ふくよし号）」の取り組みを行っています。ボランティアの運転手やスタッフによりバスの運行を行うもので、乗車料は無料。詳細は自主運行バス協議会（福吉コミュニティセンター「福よし絆館」内 092-326-5501）までお問い合わせください。

◆まむしの湯

福吉の日帰り入浴施設として地域に親しまれています。浴槽の種類も豊富で、日本庭園をイメージした露天風呂や檜風呂、家族でのんびりできる家族風呂などがあります。



左/福井神楽
右/かずらの綱引き（子ども相撲）